



地域における協力に関する協定

郵便局員が地域を見守り

7月12日、牛久市と日本郵便株式会社牛久市内郵 便局(8局)との間で「地域における協力に関する協 定」を締結しました。この協定は、市内で郵便局員 が住民の異変や道路等の異状、不法投棄などを発 見した場合に市に情報を提供し、住民が安全に暮 らせる地域をつくることを目的としています。内田 洋一牛久郵便局長は「郵便局員が毎日市内を回っ ている中で、異変に気づいたらすぐに情報提供を

したい。日頃か ら『市民ととも に』という思い を持ってがんば ります | とあい さつしました。



情報発信活動の相互協力に関する協定

事件から住民を守るために コミュニティ FMで情報発信

7月4日、牛久警察署とNPO法人牛久コミュニティ 放送が「情報発信活動の相互協力に関する協定」を締 結しました。この協定により、凶悪事件で被疑者が逃 走するなど緊急の場合に、牛久警察署がFMうしくう れしく放送へ情報を提供し、速やかにラジオから放送 されるようになります。桑原充牛人警察署長は「リア ルタイムに情報発信ができるラジオを活用できるこ とは心強いです|と話し、NPO法人牛久コミュニティ

放送中村一雄理 事長は[速やか な情報発信で住 民の安全を守る ことができれば| と話しました。



東洋大学附属牛久中学校・高等学校空手道部

高校総体 県予選で個人・団体とも優勝!

7月12日、東洋大学附属牛久中学校・高等学校空手道部が根本市長 を表敬訪問し、平成29年度全国高等学校総合体育大会茨城県予選会 (6月16日・17日開催)の結果と、7月29日~31日に開催される全国大 会出場を報告しました。県予選で、組手では個人・団体とも男女それ ぞれ優勝を果たし、男子団体は5連覇、男女アベックは10年ぶりの快 挙を成し遂げました。2年後の「いきいき茨城ゆめ国体2019」では牛久 市が空手道の会場となります。国体監督でもある益田史朗先生は「茨 城国体の優勝も目指しています」と力強く語りました。



【組手】

優勝藤原丈士(3年) 準優勝 湯原辰光(3年) 上杉知也(3年) 第3位 川崎晃太郎(2年) 優勝篠原鈴乃(1年) **第3位** 小森聖奈(3年)

優勝 優勝

男子団体 女子団体

【形】

男子個人 **第3位** 湯原辰光(3年) 第3位 田原日愛(1年)

タウンミーティング

8小学校区でタウン ミーティングを開催

市民と直接対話し、協働の まちづくりを推進しようと市役 所庁舎で小学校区ごとにタウン ミーティングを開催しました。

7月12日から19日にかけ、合計 8回開かれたタウンミーティン グでは、小学校区内の行政区長 や行政区役員などが出席し、根 本市長や市の執行部と共に市第 3次総合計画や空き家対策、かっ ぱ号の運営、道路利用などの幅 広い分野の意見交換を行いまし た。



県予選成績





おくのふれあいまつり

世代を超えた地域のふれあい

7月15日奥野小学校校庭で、「おくのふれあいまつり」が開催されました。4年目の今年は、おくのキャンパスコミュニティ・スクール学校運営協議会が主催となりました。第1部は牛久第二中学校の生徒が、ストラックアウト、ボーリングなどの手作りゲームで奥野さくらふれあい保育園、向原保育園の園児や奥野小学校の児童たちを楽しませました。第2部は、地域学校コーディネーターが中心となって企画運営し、土曜カッパ塾のダンスの発表や民舞、3B体操、地元のバンド「エルダース」の演奏などが行われました。地区社協、保小中PTAの皆さんが、屋台を出し、まつりの雰囲気を盛り上げていました。





牛久沼周辺首長会議

牛久沼の魅力ある活用のために

7月6日龍ケ崎市役所で、牛久沼周辺の龍ケ崎市、取手市、つくばみらい市、つくば市、河内町と牛久市の首長が、牛久沼の活用について話し合う「牛久沼周辺首長会議」が龍ケ崎市の呼びかけにより開催されました。会議は、豊かな自然が残る貴重な地域資源である牛久沼を活用し、周辺地域の魅力向上や、地域経済の活性化を図る広域的なまちづくりを推進することを目的にしています。今回は第1回目の会議で、それぞれの首長が活用策の構想を語り、意見交換を行いました。会議は今後継続的に開催され、牛久沼周辺自治体が一丸

となって沼の 活用策を考え、 地域の活性化 を図っていく ことが確認さ れました。



ひたち野うしく七タフェスタ2017

ひたち野うしく駅周辺 が夏の彩り

7月2日~7日に「ひたち野うしく七夕フェスタ2017」が行われました。ひたち野うしく駅自由通路を中心に子供会ごとに製作した鮮やかな大飾りが展示され、道行く人々の目を楽しませてくれました。7月2日のメインイベントでは短冊づくりなどのワークショップや、物販コーナー、コンサートなどが行われ、多くの家族連れで賑わっていました。



夏の交通事故防止県民運動街頭キャンペーン&茨城県交通安全キャラバン隊

交通事故防止を呼び掛け

●夏の交通事故防止県民運動街 頭キャンペーン

7月18日、夏の交通事故防止県民運動街頭キャンペーンがひたち野東交差点で行われ、運転者や歩行者に啓発品を配りながら、交通事故防止を呼び掛けました。キャンペーンに参加した下根中学校女子バスケットボール部原山梓さんは、「自転車によく乗るので、交通ルールをしっかり守り、事故に気を付けたい」と話していました。



●茨城県交通安全キャラバン隊

7月20日、茨城県交通安全母の会連 合会による「茨城県交通安全キャラ バン隊」が牛久運動公園に到着しま した。同連合会神戸礼子会長は「交通 事故はいつでも誰にでも起こりうる ことを忘れず、他者への思いやりの 心が重要です」と根本市長へ橋本県 知事からのメッセージを伝えました。 その後、東洋大附属牛久高校空手道 部による空手の演武が行われました。



根本市長に交通安全のメッセージを伝える 茨城県交通安全母の会連合会神戸会長

友好都市グレーヴェ・イン・キアンティ市派遣市民団

友好都市締結から4年 ますます広がる交流の輪

牛久市長を団長とする派遣市民団15人が、6月28日から7月5日までの8日間、友好都市グレーヴェ・イン・キアンティ市を訪問し、市長や市民から盛大なおもてなしを受けました。

会談の席では「来年必ず牛久市を訪問します」とソッターニ市長からのお言葉があり、両市長が指切りで約束を交わす一幕もありました。

また、市民団は牛久市内小中学生の絵画・書道作品78 点の展示会場を見学した他、昨年来市した彫刻家サラ・ ジュディチェさんのアトリエを訪れ、再会を喜び合いま した。農場体験では、自分たちで焼いたピザに、訪問先 農家の畑で生産されたオリーブを使ったオイルをかけて 食べるなど、地産地消の取り組みを学びました。

人と人との交流の輪が広がり、さらに友好の絆が深まった訪問となりました。







- 1 来年の来市を約束する根本市長とソッターニ市長
- 2 牛久市内小中学生作品展示会場
- 3 訪問した農場で記念写真

がんばれ!横綱稀勢の里関メニュー給食

ちゃんこで野菜をたっぷりおいしく



大相撲七月場所2日目の7月10日、市内公立保育 園では相撲にちなんだ給食献立「がんばれ!横綱 稀勢の里関メニュー」がお目見えしました。

この日のメニューは、ごはん、カレーちゃんこ鍋、マカロニサラダ、ヨーグルト。ちゃんこの味は夏の食欲がない時期でも食べやすく、子どもたちの好きなカレー味にしました。栄町保育園の5歳児クラスでは、保育士が「ちゃんこの中にはどんな野菜や肉が入っているかな」と呼びかけると、みんなで当てっこが始まりました。思ったよりもたくさんの野菜が使われていることを学んだ子どもたち。「全部の野菜がおいしいよ」「いっぱい食べて運動もいっぱいしたいな」と元気な声が上がりました。

1198号

「伝えたい 残したい 昔の牛久の写真」展

写真で振り返る牛久の過去



7月1日から30日まで中央生涯学習センターで同センター開館30周年記念「伝えたい 残したい 昔の牛久の写真」展を開催しました。明治から昭和にかけての市内の様子が撮影された写真約50点を展示しました。

訪れた人たちは「そういえば昔はこんな風景だったね」と、今は見ることができない昔の牛人の風景を懐かしんでいました。

市内公立小中学校・保育園で夏の食育

トウモロコシの皮むき体験

7月4日・5日、市内の公立小中学校・保育園でトウモロコシの皮むき体験が行われました。

岡田小学校では、栄養士からトウモロコシが様々な食品に加工されていることや、トウモロコシのヒゲの数と粒の数は同じなどの説明を聞いた子どもたちはとても驚いた様子でした。 つつじが丘保育園では、初めて皮むきを体験する子ども

つつじが丘保育園では、初めて皮むきを体験する子ども たちが悪戦苦闘。でもむき終わると「楽しかった、またやり たーい」と笑顔で答えてくれました。

公立小中学校・保育園で、皮むき体験が終わった後のトウモロコシは給食室に運ばれ、おいしい給食になりました。





▲岡田小学校

▲つつじが丘保育園



🐯 奥野さくらふれあい保育園のお友だち 🦭





▼図鑑であおむしに ついて調べます

▶ザリガニの お世話もします



奥野さくらふれあい保育園のお友だちがあおむしとチョウチョの絵を描きました。ぞうぐみのお友だちは生き物が大好き!虫かごのあおむしは子どもたちが卵から孵化させました。保育園にはあおむしの他にもカメとザリガニがいて、子どもたちに大人気です。





